

主な施設の平成28年度の実稼働率

資料1

No.	施設名	※1.利用可能な 部屋の全コマ数	※2.実際に利用した 部屋の全コマ数	施設全体の稼働率 (※2/※1)
1	中央市民会館	28,976	15,923	55.0%
2	北部市民会館	9,352	5,120	54.7%
3	コミュニティセンター	12,435	8,173	65.7%
4	能楽堂	5,434	2,363	43.5%
5	桜井地区センター・公民館	10,204	4,720	46.3%
6	新方地区センター・公民館	10,694	3,994	37.3%
7	増林地区センター・公民館	11,263	3,549	31.5%
8	大袋地区センター・公民館	4,303	1,822	42.3%
9	荻島地区センター・公民館	10,607	3,287	31.0%
10	出羽地区センター・公民館	9,545	2,928	30.7%
11	蒲生地区センター・公民館	11,534	6,205	53.8%
12	川柳地区センター・公民館	3,181	892	28.0%
13	大相模地区センター・公民館	10,473	3,458	33.0%
14	大沢地区センター・公民館	4,308	2,557	59.4%
15	北越谷地区センター・公民館	4,290	2,764	64.4%
16	越ヶ谷地区センター・公民館	5,333	3,088	57.9%
17	南越谷地区センター・公民館	11,458	6,090	53.2%
18	赤山交流館	3,696	1,043	28.2%
19	大沢北交流館	3,696	1,398	37.8%
20	蒲生交流館	3,696	1,267	34.3%
21	大袋北交流館	3,696	1,262	34.1%
22	桜井交流館	3,696	1,523	41.2%
23	南越谷交流館	3,696	1,230	33.3%
24	南部交流館	3,696	1,101	29.8%
25	市民活動支援センター	2,154	915	42.5%
26	総合体育館(第1体育室)	4,308	3,326	77.2%
27	総合体育館(第2体育室)	2,155	1,931	89.6%
28	総合体育館(武道場)	2,150	1,486	69.1%
29	第1体育館	1,053	802	76.2%
30	第2体育館	1,052	840	79.8%
31	北体育館	1,065	866	81.3%
32	南体育館	1,074	853	79.4%
33	西体育館	1,095	927	84.7%
34	市民球場	636	241	37.9%
35	しらこぼ運動公園競技場	1,241	840	67.7%
36	しらこぼ運動公園第2競技場	3,662	1,679	45.8%
37	流通公園サッカー場	2,250	1,128	50.1%
38	越谷総合公園多目的運動場	3,213	1,309	40.7%
39	しらこぼ運動公園庭球場	11,396	8,844	77.6%
40	越谷総合公園庭球場	14,084	8,471	60.1%
41	出羽公園庭球場	6,704	3,044	45.4%
42	川柳公園庭球場	3,284	1,127	34.3%
43	東越谷第二公園庭球場	7,197	6,192	86.0%
44	平方公園庭球場	1,642	530	32.3%
45	しらこぼ運動公園ソフトボール場	910	301	33.1%
46	しらこぼ運動公園野球場	1,146	550	48.0%
47	千間台第四公園野球場	1,634	503	30.8%
48	川柳公園野球場	1,599	453	28.3%
49	大杉公園野球場	1,472	499	33.9%
50	緑の森公園越谷市弓道場	27,310	12,171	44.6%
51	北越谷第五公園洋弓場	2,811	1,964	69.9%
	合計コマ数・稼働率の平均	325,351	163,124	50.1%

施設使用料の算定に際しての稼働率の反映と比較考慮の有無

1 近隣市町の実態

※2019.4.5 本市電話調査

自治体名	使用料の算定にあたり			使用料の算定にあたり比較考慮を行っているか	
	基準・方針の有無	施設稼働率を	反映している場合、その率は	市域内の同種・同格の施設を	近隣自治体と
さいたま市 (政令市)	無 (手数料に関する基準あり)	考慮していない (※施設数が多く統一できない)		比較考慮している	比較考慮をしている(※駐車場、駐輪場は民間を参考にしている)
川越市 (中核市)	有	考慮している	最低値は70%。 値の根拠はない。	比較考慮している	比較考慮をしていない
川口市 (中核市)	無	考慮していない (統一的な見解なし)		施設所管課と財政担当課の協議の中で決定	比較考慮をしていない
草加市	無	考慮していない		比較考慮している	比較考慮をしている
八潮市	有	考慮していない		比較考慮している	比較考慮をしている
吉川市	無	考慮していない		比較考慮している	比較考慮をしている
三郷市	無	考慮していない		考慮する施設もある	比較考慮をしている
松伏町	無	※未回答			

2 全国 54 の中核市のうち回答があった 45 市の実態 ※2018.10 西宮市調査

- 基本方針の有無に関わらず、「施設の稼働率を使用料算定に反映させている」と回答した中核市 **14 市**
(秋田市、宇都宮市、高槻市、大津市、豊橋市、尼崎市、西宮市、姫路市、松江市、高知市、鳥取市、長崎市、鹿児島市、那覇市)
うち、計算式等で稼働率(推定稼働率、目標稼働率)を加えている中核市 4 市(西宮市、尼崎市、鳥取市、高知市)
- 「施設の稼働率を使用料算定に反映させていない」と回答した中核市 **26 市**(※未回答他 5 市)

諮問に係る審議会において合意した事項と主な意見・要望等

1 受益者負担・算式について

(1) 合意した事項

- ① 改定案のマトリックス図を認める。(第3回にて)
- ② 受益者負担の最低負担率を25%にすることについて同意する。(第3回にて)

(2) 主な意見・要望等

- ① 実際に使用料を決める際には、補助金等の別途の利益があればきちんと勘案すること。また、近隣自治体との比較は適切に行うこと。(第3回にて)
- ② 現在の使用料において、割高感がないものについては下げる必要はないのではないか。割安感が出ないように決めてほしい。(第3回にて)
- ③ これからの社会経済情勢において、受益者負担はどうしても避けられない。受益者負担がゼロということはないという考えを取りまとめてほしい。(第3回にて)
- ④ 使用料等の算式で、原価に受益者負担割合を掛けても、最後に近隣自治体や類似の施設等を比較して決めるのであれば、結局、価額は近隣自治体と一緒にになり、違和感を覚える。(第3回にて)
- ⑤ 使用料の額を類似の施設や近隣自治体と全く同じでよいということではない。越谷市なりの料金設定をしたらよい。(第3回にて)
- ⑥ 改定によって受益者負担率が極端に上がってしまう施設があるので、市民感情などを勘案すべき。(第3回にて)
- ⑦ 使用料等の価額の算定に当って、同種の施設、あるいは近隣自治体との比較考慮をすることで(結果的に)ボトムラインに合わさってしまうと、基本方針が基本方針でなくなってしまうので、そのあたりをどうするか。付帯意見として加えたい。

2 減免等について

(1) 主な意見・要望等

- ① 免除と減額の境界線が不明確。個人と団体、団体と団体でも扱いが異なることが不明確。(第4回にて)
- ② 減免の適用に当っては、施設所管課で曖昧にならないよう適切に定めて、恣意的な取り扱いにならないよう、統一的な見解、ガイドライン等で縛ることがあってもよい。(第4回にて)

3 その他について

- ① 財政への配慮等についても答申に入れたい。(第3回にて)
 - ② イベントの際に使用している電気の使用料を徴収していないものもあるから、取り漏れがないよう答申に入れたほうがよい。(第3回にて)
 - ③ 施設の使用目的に応じて使用料に差をつけることも検討すべき。(第3回にて)
 - ④ 各施設所管課が個々に使用料を決める際に、市にプラスになるよう全体的な調整も必要ではないか。(第3回にて)
 - ⑤ 施設利用に係る団体登録について、登録者の中に以外の方が入り込んでいる実態があることから、規定で整理する必要がある。(第4回にて)
 - ⑥ 使用料等の価額の算定に当っては、施設への利便性も反映してもらいたい。(第4回にて)
 - ⑦ 使用料を決めるに当っては、施設の稼働率も検討すべきではないか。(第4回にて)
-

3 平成31年度第1回審議会(2019.4.19)にて(全体をとおして)

(1)

(2)

※ () 内の第3回とは、平成30年度第3回審議会(2019.2.19)の会議録

※ () 内の第4回とは、平成30年度第4回審議会(2019.3.25)の会議録